

男女共同参画啓発ポスターコンクール 優秀賞作品

小学生低学年の部



嶋 康勝 さん

(和歌山市立名草小学校1年)



竹中 奏一朗 さん

(和歌山市立吹上小学校2年)



堀江 花姫 さん

(有田市立保田小学校3年)

ぼくのともだちには男の子でもかみが長かったり、くくったりしている子がいます。女の子でもかみの毛が短い子もいます。でも休み時間はいっしょに遊ぶし、なかよしです。男の子も女の子もすきなかみがたや服をきて、「それにあってるね!」といわれたらとてもうれしい気持ちになると思います。メガネだっている色々な色があるし、自分が気に入ったものをパッと身につけて、まわりの目をきにしないで生きていける未来になったらいいな!と思いました。ぼくも赤やピンク好き!!

ぼくの妹が来年小学校1年生です。髪の毛が長くても短くても、スカートをはいていてもズボンをはいていても、ランドセルの色も、ひとりひとりちがっていいんだよ。いろいろな色があつまったら、カラフルですてきだね。みんなかっこいいという思いでかきました。

みんななかよく遊び学びたいのでかきました。

小学生高学年の部



やまもと ことみ
山本 采生 さん
(和歌山市立高松小学校5年)

元気な和歌山を意識して、男女かんげいなく、和歌山らしい仕事をしているところをかきました。



やまもと ちひろ
山本 千尋 さん
(和歌山市立高松小学校6年)

性別関係なく自分が思い描く未来にむかって進むことができたなら、笑顔あふれる明るく元気な社会になると思って描きました。



さかくち はるあき
阪口 遥映 さん
(和歌山市立高松小学校6年)

男性女性関係なく、家族みんなで家事を分担し、明るい様子を伝えたいと思い、この作品をつくりました。

中学生の部



よしかわ いちか
吉川 維千花 さん
(近畿大学附属和歌山中学校1年)

男女というちがいによって「性別」にとらわれて「自由」と「自分らしさ」を失ってる感じを出したくて、「女」と聞いてまっさきにイメージするような、いわゆる典型的な女の子をあえてかきました。この性別に存在する典型的が、1日でもはやくこの世界からなくなればいいなと思いこのデザインにしました。



まつした しゅうへい さん
松下 周平 さん

(かつらぎ町立笠田中学校2年)

人にやさしくすることは大切だが、そのためには自分も大切にすることが重要だと思う。



きたやま ふうか さん
北山 楓夏 さん

(紀の川市立貴志川中学校3年)

この作品にはDV被害者は、自分の問題ではなく、これは相手の問題だから、自分を責めてほしくないし、あなたは悪くないんだよってことを伝えたくて、この作品の主人公は自分を抱きしめるように座っています。ポロポロと崩れている仮面は、我慢してまで感情に嘘をつかなくていいんだよって意味を込めました。

高校生の部



うい せら さん
宇井 星空 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

職場においてもっと女性が明るく照らされ、注目されるようになってほしいという思いをこめた作品です。



なりた こう さん
成田 コウ さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

「夕暮れに家族で手をつないで帰っている影」が温かい感じがして好きだったので、それにしました。また、文字の「ふたりで」というところを強調したかったので、「ふたりで」の下に線を引いて、より分かりやすくしました。



みやざき こうれん
宮崎 香蓮 さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)



おくばやし りこ
奥林 莉子 さん

(和歌山県立耐久高等学校2年)

SNS等でお父さんが子どものお世話をしている動画には、「すごくいいお父さん!」「イクメン」などコメントされているのを見かけ、お母さんの場合だとそんなコメントはありませんでした。同じ育児をしても父、母でこんなにも周りの反応の差がでるのかと違和感を感じたので、「イクメン」という言葉について問いかける作品にしました。この作品を見て、少しでも男女の差について考えてもらえたらいいなと思います。

私はこの絵に「みんな性別関係なく自分らしく生きてほしい」という思いをテーマにして描きました。また、この絵の見てほしいポイントは二つあり、一つ目は表向きは普通の男女に見えますが、この2人の本当になりたい姿(自分)が鏡に映し出されたり、二つ目はそのままの自分をさらけ出せず、モヤモヤした感情を白いレースのリボンで表したりしました。